

こんにちは！

梅雨明けはしたものの、すっきりしないお天気が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

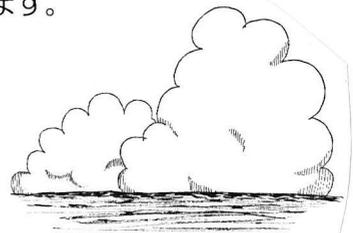
最近、ゲリラ豪雨や竜巻など、これまでなかったような異常気象が見られるようになりました。これも地球温暖化の影響か？と心配になってしまいますが、お出かけの際はお気をつけてくださいね。

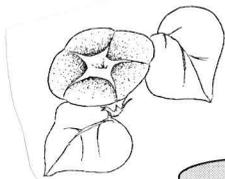
今年は冷夏になるのか、暑かったり、涼しかったり、まだ気候が安定しませんが、暑い日には熱中症対策も必要です。特に、体調がすぐれない時は、家の中でも要注意。十分な水分補給やお部屋の換気、休憩を取りながらゆっくり動くことを心がけてください。

さて、毎月の『うがみやぶら』のコラムはお読みいただいていますか？当カウンセリングルームのカウンセラーがコラムを掲載する予定です。あなたの担当カウンセラーも登場するかもしれませんよ！どうぞお楽しみに。

また、バックナンバーもご用意しています。担当カウンセラーが受付まで、どうぞお気軽にお申し付けください。ご覧になった感想などもお聞かせいただけたら嬉しいです。

では、今月もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。





## ラベル

精神分裂病から統合失調症へ、痴呆症から認知症へ、症状に貼られていたラベルが変わって受療率やその病気に対する社会の受けとめ方も変わったといわれています。

症状の名前には、その病気を発見、研究した人の名前が付けられているものもありますが、病態や病状を表現するように命名されていることが多いようです。そのためでしょうか、症状のラベルとして選ばれた名前には、どこか負の価値観が含まれている印象が残ります。あるラベルを貼られることにより、その主体である人の価値が大きく変化し、差別や偏見が生れることがあります。

このラベルの裏に潜んでいるもの、「隠喩（メタファー）」の問題は、日本ではあまり馴染みがありませんが、欧米では、「隠喩としての病」、「病という隠喩」として重要な研究テーマになっています。「老化」という表現に負の意味が含まれていることから、価値観が含まれない、より中立的な表現である「加齢」に変えられたという経緯があります。ですから、「加齢臭」という否定的表現は正しい使用法ではありません。私は、「人生の香り」と呼んでいます。

「心の病」につけられている名前には、多くの種類があります。歴史の中で、いつの間にか使われなくなった（消えて

行った)ものもあれば、新しく誕生した名称もあります。流行病でもなければ、克服されたわけでもない、「心の病」の呼び方が、どうしてこのように変化するのでしょうか。それは「心の病」の捉え方の変化にありそうです。「心の病」のラベルの変化は、「症」から「障害」への変化ともいえそうです。

「症」とは、病気の性質を表すもの、「障害」とは、病気の原因となる機能の不全を表すものといえます。確かに、治療的視点から考えれば、機能へアプローチすることの方が理にかなうものであると思われるからです。

「心の病」への薬理学的アプローチの進歩には、目覚しいものがあります。薬の効果は、症状を生み出す生理学的機序を捉え、不全を来している機能に介入することです。特定の症状の改善を目指して開発された一つの薬が、複数の異なる症状に効果的であるということは珍しいことではありません。異なる症状に対して同じ成分の薬が効くということは、その症状発現のメカニズムが共通していることを意味します。

私は、ある一定の生理学的、生物学的状態(障害)が生じた時、その持ち主である主体が取った対処の結果が、ある症状を持つこと(症状の意味)であり、その対処の仕方が時間要因(年齢、季節)や社会的背景(時代性、文化)の影響を受けて、さまざまに異なるために多くのラベルが必要になっただけではないかと考えています。もしかしたら心の病の発現に関わる機序はそれほど多くはないのかもしれない。

ラベルの張替えにより、「心の病」に取りついている「隠喩の呪縛」からの開放が進むことを願っています。

(宮森 孝史)



## カウンセリングルームからのお知らせ

### ○夏季休業についてのお知らせ

昨年同様、カウンセリングルーム全体としての夏季休業は設けておりません。各カウンセラーが個別に夏休みを頂くことはあるかもしれませんが、ご予約は担当のカウンセラーとご相談下さい。

### ○「薬物依存症家族教室」のご案内

薬物依存症は、患者の家族にも大きな影響を与えます。正しい知識や適切な対応を知ること、回復につながる方向づけをすることができます。今年度第1クールは、6～8月の第1・第3水曜日、全6回にわたり行ないます。\*詳しくは別刷のチラシをご覧ください。

本誌の表題「うがみやぶら」は鹿児島県奄美地方の「こんにちは」というあいさつを意味したことばで、「おがみあげてそろろう(拝み上げて候)」が転じたとされています。出会った方をとても尊敬し大事に思いながら挨拶しているように感じさせる素敵なことばだと思います。私たちは、「うがみやぶら」のことばが意味しているように、カウンセリングルームに来られた皆様との出会いを大切にすると同時に、皆様が自分のままに自由に生きていくお手伝いできればと願っています。

発行・編集：さがみはらカウンセリングルーム

相模原市相模大野 5-29-23 TEL/FAX(042)748-3532

2009年8月1日発行



tail